

# 中等2年 数学 年間指導計画（試案）

《県立中央中等教育学校》

《課題学習「問題づくりをしよう」を組み入れた年間指導計画》

時数 (45分)	章	節	時数 (45分)	課題学習 14時間	時数 (45分)	章	節	項	時数 (45分)			
1 1	1 式の計算 (全12時間)	1 式の計算	7	+2時間	1 1	1 式の計算 (全14時間)	1 式の計算	単項式と多項式	1			
2 2					多項式の計算			4				
3 3					単項式の乗法と除法			2				
4 4								式の値	1			
5 5								基本の問題	1			
6 6								2 文字式の利用	式による証明	2		
7 7		2 連立方程式 (全21時間)	13		-7時間		7 7	2 連立方程式 (全14時間)	1 連立方程式	等式の変形	1	
8 8							基本の問題			1		
9 9							章の問題			1		
10 10							連立方程式とその解			1		
11 11										連立方程式の解き方	5	
12 12										いろいろな連立方程式	2	
13 13	基本の問題	1										
14 14	2 連立方程式の利用	8	-1時間	14 14	2 連立方程式の利用 (基本の問題を含む)	2 連立方程式の利用 (基本の問題を含む)	4					
15 15				章の問題			1					
16 16				問題づくりをはじめよう(数値だけを変えてみよう)			1					
17 17				数談タイム(グループで話し合い、場面変換の問題づくり)			1					
18 18				数談タイム(グループ問題の解答発表、全体での意見交換)			1					
19 19				問題づくりをしよう(原題を自分で選んで問題づくり)			1					
20 20	3 1次関数 (全22時間)	1 1次関数	13	-1時間	20 20	3 1次関数 (全21時間)	1 1次関数	関数	2			
21 21					1次関数			1				
22 22					1次関数の値の変化			1				
23 23					1次関数のグラフ			5				
24 24								1次関数を求めること	2			
25 25								基本の問題	1			
26 26		2 1次関数と方程式	9		-6時間		26 26	2 1次関数と方程式	2 1次関数と方程式	2元1次方程式のグラフ	2	
27 27							連立方程式とグラフ			2		
28 28							1次関数の利用			3		
29 29							基本の問題			1		
30 30							章の問題			1		
31 31							問題づくりをはじめよう(原題の一部を変えて問題をつくらう)			1		
32 32	数談タイム(グループで話し合い、問題づくり)	1										
33 33	数談タイム(グループ問題の解答発表、全体での意見交換)	1										
34 34	問題づくりをしよう(原題を自分で選んで問題づくり)	1										
35 35	4 平行と合同 (全18時間)	1 平行線と角	8	-1時間	35 35	4 平行と合同 (全17時間)	1 平行線と角	多角形の内角と外角	2			
36 36					平行線と角			4				
37 37					基本の問題			1				
38 38					2 合同な図形			合同な図形	1			
39 39								三角形の合同条件	3			
40 40								証明のすずめ方	4			
41 41		基本の問題	1									
42 42		5 図形の性質 (全33時間)	10		-6時間		42 42	5 図形の性質 (全27時間)	1 三角形	二等辺三角形の性質	4	
43 43							二等辺三角形になるための条件			2		
44 44							直角三角形の合同			3		
45 45							基本の問題			1		
46 46							2 平行四辺形			平行四辺形の性質	3	
47 47	平行四辺形になるための条件			4								
48 48	特別な平行四辺形	2										
49 49	平行線と面積	1										
50 50	基本の問題	1										
51 51	3 三角形と円	9	-6時間	51 51	3 三角形と円	3 三角形と円 (基本の問題を含む)	直角三角形と円	1				
52 52				二等辺三角形と円			4					
53 53				章の問題			1					
54 54	問題づくりをはじめよう(「AR=OR」を証明する問題づくり)	1										
55 55	数談タイム(グループで話し合い、問題づくり)	1										
56 56	数談タイム(グループ問題の解答発表、全体での意見交換)	1										
57 57	問題づくりをしよう(原題を自分で選んで問題づくり)	1										
58 58	7 確率 (全11時間)	1	-1時間	58 58	7 確率 (全10時間)	1 確率	確率の考え方	2				
59 59				確率の求め方			4					
60 60				いろいろな確率			2					
61 61				基本の問題			1					
62 62				章の問題			1					
63 63				数談タイム(平行四辺形の作図と証明)			1					
64 64				数談タイム(グループごとに平行四辺形の分類、証明)			1					
65 65				数談タイム(グループの作図・証明発表)			1					
66 66				領域の色分け 「数」と 「数量関」と 「図」			1	-1時間	66 66	領域の色分け 「数」と 「数量関」と 「図」	領域の色分け 「数」と 「数量関」と 「図」	1
67 67									1			
68 68									1			
69 69									1			
70 70	1											
71 71	1											
72 72	1											
73 73	1											
74 74	1											
75 75	1											
76 76	1											